

第 10 回通常総会 議事録

2013（平成 25）年 6 月 4 日
特定非営利活動法人（NPO）
日本知的財産翻訳協会（NIPTA）

1.日時 2013（平成25）年6月4日 15:00-16:00

2.場所 東京大学校友会館 相模の間
東京都千代田区霞が関3-2-5 霞ヶ関ビル35階

3.議題

(1) 審議事項

- 第1号議案 2012（平成24）年度事業報告について
- 第2号議案 2012（平成24）年度会計収支決算および監査報告について
- 第3号議案 2013（平成25）年度事業計画について
- 第4号議案 2013（平成25）年度会計収支予算について
- 第5号議案 役員選任について

4.出席者

現在数 会員総数 151名

出席者数 85名（内書面による表決参加71名）

出席者名 理事 石井 正
理事 稲葉 良幸（書面による表決参加）
理事 尾上 道雄
理事 奥山 尚一
理事 恩田 博宣（書面による表決参加）
理事 北澤 三郎（書面による表決参加）
理事 小谷 悦司（書面による表決参加）
理事 小林 行司（書面による表決参加）
理事 高見 和明
理事 田中 達也
理事 浜口 宗武
理事 東 郁男
理事 深見 久郎（書面による表決参加）
理事 堀部 茂遠
理事 矢間 伸次（書面による表決参加）
理事 山根 信成
監事 阿部 淳一（書面による表決参加）
監事 平沼 伸平
会員 瀧野 秀雄
会員 中野 千佳
会員 野崎 哲郎
会員 バパット・ヴィニット
会員 李 東偉

5.議事経過

(1) 開会

定刻になり浜口常務理事が第10回通常総会の開会を宣言した。その後石井理事長に挨拶を求めた。

(2) 石井理事長挨拶

石井理事長より各理事、監事、会員へのご出席の謝辞とともに、昔と比べ、知的財産をとりまく環境が変わりつつある、知的財産翻訳検定のプロとしての翻訳者育成だけでなく裾野を広げ、強い組織を目指していきたいとの話がなされた。

(3) 議長選出

定款第26条に従い、議長の選任について諮ったところ「司会一任」の声があり、司会より石井理事長を指名し、全員異議なくこれを承認した。

(4) 議事録署名人の選出

議長は議事に先立ち、議事録署名人2名の選出について諮ったところ、「議長一任」の発言があり、議長は堀部理事と山根理事の両氏を議事録署名人として指名した。

(5) 総会成立確認

事務局より第10回通常総会開催日の前日6月3日辞典で、出席者15名、委任状による出席者数71名、計86名で、正会員数151名の75名を超えており、定款27条により本総会は成立しているとの報告があった。

(6) 審議事項

- ①第1号議案 2012（平成24）年度事業報告について
- ②第2号議案 2012（平成24）年度会計収支報告について
- ③第3号議案 2013（平成25）年度事業計画について
- ④第4号議案 2013（平成25）年度会計収支予算について
- ⑤第5号議案 役員選任について

(7) 議事の経過の概要および議決の結果

(7)-1 第1号議案および第2号議案について、配布資料をもとに浜口常務理事より説明がなされた。

①第1号議案 2012（平成24）年度事業報告について

①-1.第14回知的財産翻訳検定<第8回和文英訳>試験の実施について

資料に加え検定試験回数を通し番号と試験の内容・結果について口頭で説明がなされた。

①-2.第15回知的財産翻訳検定<第7回英文和訳>試験の実施について

資料に加え検定試験回数を通し番号と試験の内容・結果について口頭で説明がなされた。

①-3.セミナー開催結果について

東京においてセミナーを実施した旨説明がなされた。

①-4.過去問題集の販売について

初年度は20部の販売があったこととともに今後は検定申込と同時に過去問題集の購入申し込みがあった場合、検定料を割引くことも検討している旨話がなされた。

①-5.会員状況について

2013年3月31日辞典で若干の減少があった旨説明がなされた。

①-6.その他

2012年度に独立行政法人情報通信研究機構（以下 NICT と称す）より機械翻訳性能評価に関する受託事業を行った旨報告がなされた。

機械翻訳性能評価とは、審決と根拠になった文献を機械翻訳にかけて、その結果が正確に翻訳できるか、審決を下した元特許技監が判断したものであることの説明がなされた。性能評価結果は NICT 側では公表していないが、研究目的であれば問い合わせに対応するとの了承を得ているので、今後は知的財産翻訳ジャーナルで公開したい旨合わせて報告がなされた。

②第2号議案 2012（平成24）年度会計収支決算報告について

平成24年度（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の会計収支について活動計算書および貸借対照表等をもとに説明がなされた。

事業収益として活動計算書上の「自主事業収益」としては年2回開催している知的財産翻訳検定の収益であること、同じく活動計算書上の「受託事業収益」は NICT に依頼された機械翻訳性能評価に関する収益であることが報告された。

事業費として活動計算書上の「機械翻訳研究費」は NICT に依頼された機械翻訳性能評価においてかかった費用であることが報告された。

経常収益の合計は 9,153,271 円、事業費としては 5,486,035 円に加え管理費の 3,086,255 を計上し、次期繰越金は 669,911 円となったことが報告された。

貸借対照表上の長期借入金の 1,500,000 円については 2013 年 4 月と 5 月で合わせて 1,000,000 円を返済していると報告がなされた。

上記の説明がなされた後、平沼監事より、監査報告書が読み上げられた。

ここで石井理事長より NICT からの受託内容について説明がなされた。

それに対し出席者より機械翻訳ソフトの評価について質問があったため、石井理事長より機械翻訳のレベルは依然より高くなっているとの回答がなされ、再度詳細については知的財産翻訳ジャーナルで公開したい旨報告がなされた。

採択

第1号議案および第2号議案について議長から質問・意見を求め、その後採択を行い全員一致の賛成で承認された。

(7) -2 次いで、第3号議案および第4号議案について、配布資料をもとに浜口常務理事より説明がなされた。

①第3号議案 2013（平成25）年度事業計画（案）について

①-1.知的財産翻訳検定の実施

配布資料をもとに第16回知的財産翻訳検定<第9回和文英訳>の実施状況報告がなされた。

①-2.新たな「(仮)特許実務英語検定」の検討・実施に向けた取り組み

配布資料をもとに弁理士をサポートするパラリーガル向け検定実施に向けて検討したい旨報告がなされた。

①-3.知的財産翻訳の普及事業

配布資料をもとに知的財産に関する講習会開催、および知的財産翻訳ジャーナルの月間刊行および2013年9月よりPDF化し会員に対しメールで配信する旨報告がなされた。続いて知的財産翻訳検定過去問題集の販促活動に力を入れていきたいとの報告がなされた。

②第4号議案 2013(平成25)年度予算書について

2013年度予算書(案)をもとに説明がなされた。

会費・入会金収入として2012年度実績より若干上回り400万円を計上、事業収入としてはNICTからの受託事業が確定していないため、約330万円を計上、その他収入と合わせ、約730万円を見込みとした旨説明がなされた。

事業費としては約270万円、管理費としては約300万円を見込み、2012年度中の借入金150万円については5月の時点で100万円を返済済との説明がなされた。

よって、収入の部と支出の部の差額が0円になることが説明された。

ここで出席者より知的財産翻訳検定の実施回数を増やせないのか、知的財産翻訳ジャーナルのPDF化により、会員から他の人間に内容が開示される可能性があるが、それに対してどうするのか質問がなされた。

それに対し浜口事務局長より、知的財産翻訳検定の回数については現状開催回数を増やすことは難しいが、第16回知的財産翻訳検定より午前と午後開始することにより1級の化学とバイオテクノロジー、電気電子と機械工学が併願受験できるようシステム改定していることもあり、実際に併願者もいたことが説明された。知的財産翻訳ジャーナルのPDF化については会員からの要望があったことにあわせ、費用削減の点からも進めていきたいとの回答がなされた。

再度別の出席者より、協会のHPやfacebookにSEO対策をしてみてはどうか、大学へのPRをもっと広げてみないか、中高生に対し知的財産に関するセミナーを開催してはどうかとの提案があった。

それに対し石井理事長より、協会のPRについては検討する、大学へは知的財産専門職大学院を通じて知的財産翻訳検定を紹介しているが反応は薄い、中高生へのセミナー開催は弁理士会や日本知的財産協会、発明協会等で実施しているため、越境になってしまうとの回答がなされた。

採択

第 3 号議案および第 4 号議案について議長からさらなる質問・意見を求め、その後採択を行い、賛成多数で承認された。従って議案から「案」の字を取ることにした。

(7) -3 第 5 号議案 役員選任について

浜口常務理事より、現役員（理事及び監事）については平成 25 年 6 月 30 日付けをもって任期満了につき、全員改選し、その任期を平成 27 年 6 月 30 日とするとの説明がなされた。

(以下、敬称略、50 音順)

理事	石井	正
理事	稲葉	良幸
理事	尾上	道雄
理事	奥山	尚一
理事	恩田	博宣
理事	北澤	三郎
理事	小谷	悦司
理事	小林	行司
理事	高見	和明
理事	田中	達也
理事	浜口	宗武
理事	東	郁男
理事	深見	久郎
理事	堀部	茂遠
理事	矢間	伸次
理事	山根	信成
監事	阿部	淳一
監事	平沼	伸平

採択

第 5 号議案について議長から質問・意見を求め、その後採択を行い全員一致で承認された。

6.閉会

以上をもって通常総会の議事を終了したので、議長は議事進行協力への謝意表明とともに閉会を宣言した。

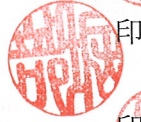
以上、本議事録が正確であることを証するため、議長および議事録署名人は次のとおり記名押印する。

2013年 月 日
特定非営利活動法人（NPO）日本知的財産翻訳協会

議長 石井 正



議事録署名人 堀部 茂遠



議事録署名人 山根 信成

